

2019年度
事業計画書

自 2019年 4月 1日
至 2020年 3月31日

公益財団法人しまね海洋館

I 管理・運営計画の部

1 はじめに

当法人は、島根県が設置した、島根県立しまね海洋館の管理運営を指定管理者制度の下で、健全経営を基本に運営をまいりました。

経営の基本的な方針として、①シロイルカやペンギン、サメ水槽など大小約 60 ある水槽に、創意工夫を凝らした飼育展示に努めること ②当館の自慢できる飼育展示を全国へ発信し、集客につなげる積極的な営業活動の展開に努めること ③多くの来館者へ心のこもったおもてなしの接客とリピーターの確保など、水族館経営の3原則である【展示】【営業】【接客】の理念のもとに運営をまいりました。

平成 12 年の開館以来、平成 31 年 2 月 13 日に 8,888,888 人の入館者を迎えることができ達成セレモニーを実施しました。しまね海洋館の設置目的である「島根県西部地域の活性化」に寄与してきたところであります。

一方、施設設備は経年劣化が進み、合わせて水族館独特の大量の海水を使用する施設でもあり、その劣化の進行は想像を絶するものがあり、施設の健全な維持管理にも多くの労力を費やしてきました。

こうした諸情勢を鑑みて、設置者である島根県において、平成 25 年度に施設の健全な保持保全と修繕費の平準化を図って行くため「長寿命化計画」が策定され、今後 20 年間で約 60 億円を投資し、遊空間（水族館）の健全な維持発展を計ることとなり、本館 1 階の【いわみ万葉の磯】の全面改装と各水槽、2 階【キッズルーム】と【授乳室】の改装、3 階【コーラルリーフ水槽・世界の海コーナー】の全面改装、【特別展示室】の改装、本館 2 階の【アシカ・アザラシプール】の全面改装や本館【シロイルカパフォーマンスプール】の防水等改修及び観覧席リニューアル工事、【ペンギン館】では、機器の更新などが順次整備されてまいりました。

最近では（公社）日本動物園水族館協会からの追い込み漁によるイルカ類の導入の禁止通達やロシア・ハバロフスクの企業による極東ナホトカでのシロイルカとシャチの大量捕獲・蓄養によりロシア政府が輸出に関する申請を全て却下した事実もあり、野生からの展示生物の確保が難しくなっている現状があります。

未来に向けての展示生物を確保するために、特にシロイルカについては血統管理を考慮したうえで、当館での繁殖を促進させると共に、日本国内のシロイルカ飼育園館と協力し、飼育されている全個体を対象にした繁殖計画の立案が必要と考えております。

また、ロシア側の水族館（プリモルスキー水族館：ウラジオストク市）及びロシア沿海州太平洋水産研究所との技術交流及び生物交換を視野に入れたパイプ作りを行い、信頼関係を築くことも重要と考えております。

2 年間入館者について

第3期指定管理期間の年次計画(第5年次)の入館者想定に基づき、4月・5月の大型連休などの変動要素を加味し、平成31年度の入館者数は、385,000人の設定としました。

パフォーマンスを再開した平成30年度は33万人程度であり、平成31年度においては平成30年度実績を下回ることのないよう、目標達成に努めてまいります。

(入館者予測)

| 区 分 | H27 年度 実 績 | H28 年度 実 績 | H29 年度 実 績 | H30 年度 見込み | 平成31 年度 入館者見込み |
|-----------------|-----------------------|----------------------|----------------------|-----------------------|-------------------------------------|
| 総入館者数 (対前年比) | 373,833 人 (101.3%) | 357,772 人 (95.7%) | 288,357 人 (80.5%) | 330,000 人 (114.4%) | 385,000 人 (116.6%) |
| 有料入館者 (対前年比) | 287,871 人 (100.3%) | 275,645 人 (95.8%) | 220,259 人 (79.9%) | 252,120 人 (114.4%) | 294,140 人 (116.6%) |
| 無料入館者 (対前年比) | 85,962 人 (104.7%) | 82,127 人 (95.5%) | 68,098 人 (82.9%) | 77,880 人 (114.3%) | 90,860 人 (116.6%) |

3 開館計画

(1) 開館日

平成31年度開館予定日数：326日 ※条例上は319日

- ① 条例で定められた休館日
 - ・4/30～5/2、7/21～8/31、12/28～12/30、1/2、1/3を除く火曜日。
(火曜日が祝日の場合は、翌平日)
 - ・12月31日、1月1日
- ② 条例で定められた休館日のうち、下記の計7日間来館者サービスの為に開館します。
 - ・2019年4月2日、12月24日、12月31日
 - ・2020年1月1日、1月7日、3月24日、3月31日

(2) 開館時間

- ① 条例で定められた開館時間
 - ・通常期(4/1～7/19、9/1～3/31) : 9:00～17:00
 - ・夏休み期間(7/20～8/31) : 9:00～18:00
- ② 上記にかかわらず、ゴールデンウィーク・夏休み期間など繁忙期は、入館者の状況を見ながら開館時間の繰り上げ閉館時間の延長を行います。

4 職員体制

《平成31年度職員数》

| 区 分 | 正 職 員 | | 契約職員 | 臨時職員 | 計 | 備 考 |
|---------|-------|-----|------|------|-----|--------|
| | 技術職 | 事務職 | | | | |
| 館 長 | | 1名 | | | 1名 | 常務理事兼務 |
| 副 館 長 | | 1名 | | | 1名 | 経営課長兼務 |
| 経 営 課 | | 4名 | 2名 | | 6名 | |
| 海獣展示課 | 8名 | | 7名 | | 15名 | |
| 魚類展示課 | 7名 | | 3名 | | 10名 | |
| 設備管理課 | 2名 | | | | 2名 | |
| 接客・接客職員 | | | 7名 | 1名 | 8名 | |
| 計 | 17名 | 6名 | 19名 | 1名 | 43名 | |

5 職員採用計画

平成29年度末において経営課正規職員1名の退職があり、平成30年度に欠員補充ができなかったため、欠員補充と体制強化を図るべく経営課（事務関係）2名を採用してまいります。

平成30年度末において契約職員接客スタッフ4名の退職希望があり、昨今は売り手市場と云われ人材確保が厳しい中、接客スタッフの人材確保に努めてまいります。

※ 常勤接客スタッフとして最低10名（アクアメイト7名、アクアフレンド3名）は必要。

※ 平成31年度当初はアクアメイト4名、アクアフレンド2名（1名育休中）及び臨時職員1名での対応となります。

Ⅱ 事業の部

1 公益事業

(1) 接客業務事業

① 接客・接客業務体制

アクアメイト4名、接客補助契約職員2名、接客補助臨時職員1名を合わせて合計7名体制で望みます。

② アルバイト

土曜・日曜・祝祭日及びゴールデンウィーク、夏休み、春休みなど、来場者の状況を踏まえ必要に応じてアルバイトの雇用を行います。

(2) 集客対策事業

1) 送客誘致事業

① エージェントへの団体客誘致活動

- 島根県、島根県観光連盟、各種協議会等が実施するエージェント招致事業等に参加し積極的な誘致活動を実施してまいります。
- 島根県はもとより集客重点地域である山陽方面（広島、岡山）、及び山口、愛媛、香川県のエージェントへの誘致活動を実施してまいります。
- 広島・島根生協組合(25万人)、マツダ労働組合及び私学共済等への施設利用促進対策のほか、他の共済組合・団体等への積極的な送客誘致活動を実施してまいります。

② 各種観光キャラバン等への参加

島根県、島根県観光連盟、浜田・江津観光協会等が実施する観光宣伝事業とタイアップし、積極的な訪問宣伝・街頭活動を実施してまいります。

③ 周辺施設と連携した魅力ある誘客対策

石見ツーリズムネット（H31.2月現在：17施設加盟）などと連携した魅力ある周遊型商品の開発・石見地方のご当地グルメ（神楽めし）開発などに連携した取り組みにより国内は勿論ではあるが海外からのお客様に対しても、島根県観光連盟や地元観光協会・地元行政等と連携を図り、石見地域への誘客を図ってまいります。

④ 島根県立しまね海洋館公式 SNS の開設

平成26年6月2日（月）より開設した公式 facebook ページ、公式 instagram を活用し、引き続き旬な情報を提供してまいります。

2) 広告宣伝事業

平成 30 年度からシロイルカパフォーマンスの再開は果たしたものの、シロイルカ移動時の事故に伴い、兄妹（シーリャ、ミーリャ）2頭でのパフォーマンス実施となったため、本館シロイルカパフォーマンスプールに1頭（父：ケーリャ）増やし3頭体制でのパフォーマンスを平成31年夏より実施できる見込みが立ち、親子（父：兄：妹）3頭によるパフォーマンス実施を広く内外に宣伝し、更なるアクアスの魅力と楽しさを伝えてまいります。

① 広報宣伝期間

○ 重点期間

- ・ 4月中旬～ゴールデンウィーク
- ・ 7月中旬～8月の夏休み期間
- ・ 冬休み期間及び年末年始
- ・ 閑散期から春休みに向う3月中旬～

○ その他期間

- ・ アクアスイベント計画及び周辺施設・地域イベントの実施に併せた相乗効果が期待できる時期・タイミングで実施してまいります。

② 広報宣伝地域

○ 最重点地域

- ・ 広島県及び岡山県を中心とする山陽方面。

○ 主要地域

- ・ 島根・鳥取(山陰エリア)及び山口・愛媛・香川方面。
- ・ 2020年3月には、香川県に「四国水族館」が開館予定であり、2020年度を見据えた広報宣伝に努めてまいります。

③ 主たる広告宣伝事業

○ 電波媒体広告（テレビ・ラジオ等）

- ・ ゴールデンウィーク、夏休みを中心に広告展開を実施し、単にCM広告だけでなく、各放送局の情報番組や、放送局エリアでの街頭宣伝活動等とセットでのキャンペーンを実施してまいります。

○ 紙媒体広告（旅行雑誌・新聞等）

- ・ 山陰・山陽地区の有力なタウン情報誌・新聞を中心に集客時期を考慮して広告展開するとともに、割引クーポン・読者プレゼント等を付け、より積極的に来館促進に取り組んでまいります。

○ ネット媒体広告

- ・ インターネットやSNSを利用した広告・宣伝を強化していきます。
スマートフォン広告・Yahooディスプレイ広告を活用して最重点地域の子育て世代（20～40代・女性）をターゲットに広告展開を実施してまいります。

3) 来場者対策事業

- ① アクアス広場への日除け大型テント設置（パフォーマンス待ち列対策、熱中症予防）
- ② 中央広場への日除けテント設置（入館チケット購入待ち列対策）
- ③ 来館者サービス団扇制作。
- ④ GW等 多客日の対策として館内に警備員配置。
- ⑤ 本年4月27日から5月6日のGWは10連休となるため、受け入れ態勢の慎重な取り組み検討。
- ⑥ インバウンド対策
○ 外国語パンフレットや平成29年度に島根県において導入していただいた音声ガイドシステムなどをフルに活用し、海外からお越しのお客様が利用しやすい環境づくりに努めてまいります。

4) 集客対策事業

- ① アクアス盛り上げよう委員会（AMI）の取り組み
○ 各課各係から横断的に募集した職員による「アクアス盛り上げよう委員会(AMI)」を組織し集客力の向上と、より豊かな水族館事業を実現するため、一過性のイベントだけでなく、アクアスの魅力が継続的に底上げされるようなイベントを計画実施してまいります。
- ② ファンクラブ会員数を増やすための対策事業の実施
○ 季節を問わずに当館を楽しんでいただき、アクアスのファンを拡大させるために、常連客層ともいえるファンクラブ会員数を増やす取り組みを継続します。
○ 平日に当館を利用していただく機会を増やすための「アクアス☆ゆったり親子の会」及びファンクラブ会員限定イベントなどを実施してまいります。
○ 平成30年度実績・・・「アクアス☆ゆったり親子の会」、「ファンクラブの日」
(p11 2) ④再掲載)
- ③ アクアス春まつり 2020
○ 春休み期間中である年度末週末を利用した地域交流イベントを実施し、多くの集客に繋げてまいります。
(p11 2) ①再掲載)

(3) 水族収集・飼育・展示事業

生物の適正な収集を行い、生物の過ごしやすい環境をつくるため、飼育展示環境の適正な維持管理及び、飼育資機材の適正購入等を行います。

① 生物の収集

- シロイルカについては、ロシア側の搬出先であるロシア太平洋水産研究所及び、ロシア沿海州水族館とは、不測の事態における供給の道の確保及び、血統管理の面からも新しい血の導入は避けられないと考えており、未来に向け強固な協力関係の構築に努めます。また国内においても飼育園館と良好な関係を堅持しながら協力関係を継続してまいります。
- ペンギン類については、キタイワトビペンギンの入手が困難なため収集の機会を逃さないよう国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集を継続していきます。また、オウサマペンギン・フンボルトペンギン・ジェンツーペンギンに関しては血縁関係により血統管理の面から国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集、交換などを積極的に行ってまいります。
- カリフォルニアアシカについては、平成 29 年 3 月にオスを導入しましたので、今後は安定的な飼育・繁殖環境を整え繁殖に寄与できるよう努めます。また国内の飼育園館の状況を把握し、他園館との良好な関係の構築に努めてまいります。
- ゴマフアザラシについては、飼育個体の高齢化と若齢個体の血縁関係により血統管理の面から新たな個体の導入を考えている。国内の飼育園館の状況を把握し、良好な関係を堅持しながら収集の機会を逃さないように努めてまいります。
- 他展示生物については、近在の漁業協同組合・地元漁業者・活魚業者・他園館との連携を強め、引き続き良好な関係を堅持しながら水生生物の収集に努めてまいります。

② 生物の飼育

- 飼育生物の体調管理、環境管理に留意し健全な飼育に努めてまいります。

③ 生物の繁殖

- 飼育生物の健全な繁殖を目指し飼育環境の整備に努めてまいります。
- H26 年 7 月に、生まれたメスのシロイルカ（愛称：ミーリャ）は 5 歳になり、順調に成長しております。今後も、シロイルカの繁殖には積極的に取り組み、シロイルカの繁殖技術の確立を目指してまいります。
- 鰭脚類・ペンギン類については、当館だけの飼育数増だけではなく他園館への供給も視野に入れ環境整備に努め、繁殖技術の確立を目指してまいります。
- 他飼育生物についても、更に飼育環境を整え一種類でも多く自家繁殖ができるよう繁殖技術の確立を目指してまいります。

④ 生物の調査・研究

- 島根県隠岐の島固有種であるオキサンショウウオ及びオキタゴガエルの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指し域外保全に努めてまいります。
- 希少種イシドジョウの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指してまいります。
- 島根県指定希少野生動植物であるミナミアカヒシタビラの生息域調査を実施し、繁殖技術の確立を目指してまいります。
- ウミガメ・鯨類・鰭脚類等のストランディング(野生生物の漂着)の調査。
- ウミガメの上陸、産卵調査。
- 島根県西部における特別天然記念物オオサンショウウオの生息調査。
- 島根県産アメフラシにおける海産扁形動物の寄生状況について、弘前大学と共同研究を行ってまいります。
- 日本獣医生命科学大学の飼育下板鰓類の病理組織学的研究に検体の提供協力を行ってまいります。

(4) 学習交流事業

1) 教育事業

《ボランティアの育成・支援事業》

当館のボランティア組織「アクアサポーター」は、館内解説や教育事業の支援を主体とした活動を行っております。主催事業の補助のほかに、自主活動の計画立案と実施を行える環境を整え、積極的な活動を促します。また、他組織の視察や、水生生物に関する研修を企画し、活動の質を高めると共に、得られた知見を自主事業として反映させられるよう支援してまいります。さらに、一定の要件を満たした活動においては昼食代等の活動費を助成し、活動しやすい環境の充実に努めてまいります。

また、引き続き新規アクアサポーターの募集及び研修を行い、登録希望者は通年で受け入れてまいります。

《企画運営事業》

① 各種教育活動

- 学校団体等(子供会・他団体含む)来館時のプログラム実施
- 環境教育プログラムの実施(総合的な学習の時間に対応)
- 体験学習・教育実習等の受け入れ
- 学校と連携した出張講座や移動水族館の実施
- 地域の環境教育活動の支援
- 各種主催事業の企画・実施
- ESD 実践拠点施設としての啓発・実践活動

② 各種教育プログラムの作成及び情報発信

- 主催事業（体験スクール等）の告知、集客用ポスター、チラシ等の作成、配布。
- 学習プログラム紹介の作成、配布。
- 学校教育利用を促進するため県内小・中学校へ訪問。
- しまね海洋館活動報告書(年報)の作成、配布。
- しまね海洋館機関誌「神話の海から」の作成、配布。
- 島根県自然系ミュージアム等との連携。
- 県内社会教育施設・団体（美術館、科学館、教育委員会等）との連携。
- 各種教育研修会への参加。
- 各種教材の開発。
- 県西部の環境教育指導者の育成とネットワーク構築、活動の場の提供。

③ 教育用備品・消耗品の作成・購入

- オリジナルカンバッチ等、教育イベント宣伝物の作成。
- 出張講座等教育プログラム用解説パネル等の作成及び備品の購入。
- 教育活動用図書及び図書コーナー蔵書の購入。

《主催スクール事業》

- | | |
|-----------------------|----------------------|
| ① アクアス体験スクール(継続) | … 夏休みを除く月 1～2 回 |
| ② わんぱく探検隊(継続) | … お盆期間を除く夏休み期間 |
| ③ サマースクール(継続) | … 夏休み期間に 3～4 回程度 |
| ④ ハガキに描こうアクアスの海(継続) | … 11 月～(募集) 2 月～(展示) |
| ⑤ みんなの知らないアクアスツアー(継続) | … 12 月～2 月 |

2) 地域交流事業

① アクアス春祭り

地域住民や地元企業、市民サークルの協力を得て、地域交流イベントを実施してまいります。

地元特産品の販売や地域食材料理などを試食・即売するテント村の設営、郷土芸能等の披露など、地域住民と石見海浜公園来園者との交流を活性化し、地域振興に寄与できるよう努力してまいります。

平成 31 年度は祝日を含めた 3 連休（2020 年 3 月 20 日～22 日）に開催してまいります。

② 各種地元振興イベントの支援

《地域振興イベント協賛負担金》

- 江の川祭り
- 浜っ子祭り
- はっしー広場イベントステージへの協賛(地元神楽の上演経費など)

③ 各種減免週間への対応

児童福祉週間、敬老週間、障がい者福祉週間の対象者無料開放を行ってまいります。

④ アクアファンクラブ会員への対応

「アクアファンクラブ」会員を対象に、当館主催スクールの告知や会員限定スクールを実施します。アクアスのファンを増やし、愛される施設を目指すと共に、ファンクラブ会員の増加を図ってまいります。

- 機関誌「神話の海から」進呈
- アクアス体験スクール等の案内
- ファンクラブ会員対象のスクール開催
- ファンクラブの日制度（毎月 10 日）
- アクアスファンクラブスタンプカード進呈（オリジナルグッズプレゼント）
- 未就学児を中心とした子育て家族を支援するためのイベント開催
（アクアス☆ゆったり親子の会）

3) 特別企画展事業

水族館は、展示内容の変更が容易でないという性格上、特別企画展を計画的に開催し、展示に魅力と変化をもたせております。また、単なる生物展示のみでなく、環境学習や海洋資源の保護などの学習要素を多く取り入れた内容にも取り組んでまいります。

また、2020 年度特別展の計画を立てると共に、2019 年度中に準備調査もあわせて実施してまいります。

《開催予定》

- ① 第1回特別展 『水辺の世界 × 彫刻 ～石見の自然と匠の技～』

2019年3月20日（水）～5月6日（月・祝）

- ② 第2回特別展 『恐竜・化石・生きた化石展(仮)』

2019年夏休み～9月連休頃

- ③ 第3回特別展 『ヘビ・カメ・トカゲ展(仮)』

2020年春休み～GW

(5) 施設管理事業

1) 光熱水費管理

しまね海洋館は平成 16 年 3 月に「エネルギーの使用の合理化に関する法律(省エネ法)」に基づく第 2 種エネルギー管理指定工場に指定され、エネルギー管理員の選任及び毎年の定期報告が義務づけられております。

エネルギー（電気・ガスなど）の使用に関して適切な管理を行うと共にエネルギー効率を見直し、LED 電球の積極的な導入や機械設備の効率的な稼働をはかり、省エネルギーを目指した管理に努めてまいります。

2) 設備メンテナンス

水族館の飼育設備は、飼育生物の生命に直結する重要なものです。さらに空調・照明・展示情報、清掃などの施設管理は来館者の安全と満足度を高めるため重要なものです。

また、水族館の設備は海水を使用するため経年劣化が激しく、機器類の耐用年数は短くならざるを得ない状況にあり、これまでのノウハウを全面的に生かしながら効率的かつ安全な管理を行ってまいります。

《主なメンテナンス項目》

- | | |
|---------------------|----------------|
| ① 設備管理業務 | ② 清掃及び環境衛生管理業務 |
| ③ 中央監視装置・自動制御機器保守点検 | ④ 昇降機設備保守点検 |
| ⑤ 海水取水施設保守点検 | ⑥ 熱源設備点検清掃業務 |

3) 維持工事・修繕事業

① 平成 25 年度島根県において、施設の長期的な保全と利用者の安全を図るため、「しまね海洋館の大規模修繕計画」が策定されました。実施期間である平成 26 年度から平成 44 年度までの 20 年計画に適切に対応し、施設の維持・管理に努めてまいります。

② オープンから 18 年以上が経過し、館内各所の設備・建物の経年劣化が見られます。平成 22 年度から緊急対応修繕費を、設置者である島根県において 6,480 千円／年の措置（実費精算）することとなり、計画的に改修計画を立て、万全を期してまいります。

また、突然の故障の際には柔軟な対応を行い、来館者及び生物への影響を最小限にとどめる努力を行ってまいります。

4) 消防防火等緊急時への対策

平成 26 年 8 月より、建物全体が防火対象物 16 項イ（消防法第 8 条第 1 項及び消防法施行令第 1 条）に分類されました。施設の防火対策と避難訓練など、適切に対応し、来館者の安全を第一にした取り組みを行ってまいります。

2 収益事業

入館者の便益を図るとともに、公益事業等で水族館運営事業の一部を財源確保するために、適切な収益事業を行ってまいります。

- ① 飲料自動販売機・プリクラ機の運営管理
- ② ロゴマーク・キャラクターのロイヤリティーの管理
- ③ オリジナルフィギュア、オリジナルカレンダーの販売 など